

日 教 庶 第 3 号

令和4年(2022年)4月8日

教育委員 各位

日野市教育委員会

教育長 堀川 拓郎

令和4年度第1回教育委員会定例会の開催について

日野市教育委員会告示第1号により、下記のとおり令和4年度第1回教育委員会定例会を開催します。定刻までに御参集ください。

開催日時

令和4年(2022年)4月14日(木) 午後2時

開催場所

506会議室

案件

議案

- 第1号 教育委員会職員人事の専決処分について
- 第2号 第33期日野市社会教育委員の委嘱について
- 第3号 第10期日野市立教育センター運営審議会委員の任命の専決処分について
- 第4号 第30期日野市立図書館協議会委員の任命について

協議事項

- 第1号 令和4年4月15日以降の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動について

報告事項

- 第1号 令和4年第1回日野市議会定例会の報告
- 第2号 令和3年度就学援助申請者数及び認定者数
- 第3号 要綱の制定及び改廃の報告(令和4年1月～令和4年3月)
- 第4号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(令和3年10月～令和4年3月)



議案第1号

教育委員会職員人事の専決処分について

上記議案を提出する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

教育委員会職員に対する人事異動に伴う人事発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長職務代理者により専決処分し、これに基づき人事発令を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

省略

議案第2号

第33期日野市社会教育委員の委嘱について

上記議案を提出する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

令和4年4月30日をもって任期満了となる第32期日野市社会教育委員10名の内2名を、日野市社会教育委員の設置に関する条例（昭和33年条例第26号）第2条の規定に基づき委嘱するものです。

第33期日野市社会教育委員

《日野市社会教育委員 名簿》

番号	氏名	住所	所属	区分	期
9	大瀧 雄一郎		日野市立豊田小学校 PTA 役員	家庭教育の向上に資する活動を行う者	1期
10	斉藤 郁央		日野市立潤徳小学校学校長	学校教育の関係者	1期

任期 自 令和4年 5月 1日

至 令和6年 4月30日

《参考法令》

社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）

（市町村の教育委員会の事務）

第5条 市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会は、社会教育に関し、当該地方の必要に応じ、予算の範囲内において、次の事務を行う。

二 社会教育委員の委嘱に関すること。

（社会教育委員の設置）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は教育委員会が委嘱する。

日野市社会教育委員の設置に関する条例

第 1 条 社会教育法第 15 条により日野市に社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

第 2 条 委員の定数は 10 人以内とし、次に掲げる者の中から教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者
- (5) 公募による市民

議案第3号

第10期日野市立教育センター運営審議会委員の任命の専決処分について

上記議案を提出する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

日野市立教育センター設置条例(平成15年条例第46号)第9条の規定に基づく任命について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により任命を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

第 10 期日野市立教育センター運営審議会委員

《日野市立教育センター運営審議会委員 名簿》

番号	氏名	住所	備考	期
4	小宮 広子		日野市立幼稚園長会 (学校教育関係者)	5
5	小川 真由美		日野市立小学校長会 (学校教育関係者)	新
6	和田 栄治		日野市立中学校長会 (学校教育関係者)	2
7	長崎 将幸		教育部参事 (教育行政機関関係者)	新
8	小林 真		教育部参事 (教育行政機関関係者)	新

任期 自 令和4年 4月 1日

至 令和6年 3月31日

《日野市立教育センター設置条例》

(審議会の委員)

第9条 前条に規定する審議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 教育行政機関関係者
- (4) 学識経験者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

議案第4号

第30期日野市立図書館協議会委員の任命について

上記議案を提出する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

令和4年4月14日をもって第29期日野市立図書館協議会委員の任期が満了となるため、日野市立図書館協議会設置条例（昭和40年条例第17号）第2条の規定に基づき、任命するものです。

第30期日野市立図書館協議会委員

《図書館協議会委員 名簿》

番号	氏名	住所	備考	期
1	田中 正昭		公募市民	5
2	田代 守		元近江八幡市立図書館長 (社会教育関係者)	4
3	山口 早苗		日野市立小学校校長会 (学校教育関係者)	2
4	山口 洋		中央大学文学部兼任講師 (学識経験者)	2
5	粟沢 稚富美		日野社会教育センター (社会教育関係者)	2
6	元木 千恵		日野市立小中学校PTA協 議会 (家庭教育関係者)	2
7	阿部 啓介		日野市立中学校校長会 (学校教育関係者)	新
8	遠藤 直幸		公募市民	新
9	吉岡 里美		公募市民	新

任期 自 令和4年4月15日
至 令和6年4月14日

《日野市立図書館協議会設置条例》

第1条 図書館法第14条の規定により、日野市立図書館協議会を置く。

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、教育委員会が任命する。

2 委員の定数は、10人以内とし、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者 7人以内
- (2) 公募による市民 3人以内

協議事項第1号

令和4年4月15日以降の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動について

このことについて、協議願います。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年4月15日以降の市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動について

日野市教育委員会

1 学校運営の基本方針

- 幼児・児童・生徒が安心して登園・登校できるよう、日野市立幼稚園・小中学校は、文部科学省及び東京都教育委員会が示した感染予防・感染拡大防止対策を実施し、「子供たちの学びと育ち」を支える教育活動を行う。
- 教育委員会事務局は、地域のまん延状況や医療提供体制等の状況等について衛生主管部局と相談し、東京都の感染レベルに基づき判断する。その上で日野市立小中学校長会と連携し、感染予防・感染拡大防止対策を進めていく。

「新たなレベル分類の考え方」(令和3年11月8日新型コロナウイルス感染症対策分科会)

レベル	新型コロナウイルス感染症対策分科会提言(※)における分類	
レベル3	レベル4 (避けたいレベル)	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況
	レベル3 (嫌々受けざるべきレベル)	一般医療を相当程度制限しなければ、新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなると判断された状況
レベル2	レベル2 (警戒を要すべきレベル)	新規陽性者数の増加傾向が見られ、一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負荷が生じはじめているが、段階的に対応する病床数を増やすことで、医療が必要な人への適切な対応ができている状況
レベル1	レベル1 (維持すべきレベル)	安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況
レベル0	(感染者ゼロレベル)	新規陽性者数ゼロを維持できている状況

2 幼児・児童・生徒等に対する指導

(1) 基本的な感染症予防策の徹底【レベル1】【レベル2】【レベル3】

○3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット(マスクの着用)

<ul style="list-style-type: none"> ・身体的距離が十分とれないときは、必ずマスクを着用するようにする。 ・一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果をもち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があるとされていることを、保護者に適宜情報提供を行う。 ・手洗いの際は、石鹸やハンドソープで10秒もみ洗いをしたのち、流水で15秒すすぐようにする。

- 毎朝検温、健康観察(体調不良等の症状が見られる場合は無理せず休養)
- 登園・登校前の健康チェック
- 教室等における密集の回避(児童・生徒等同士の間隔を1m以上確保)
- 気候上可能な限り常時換気する。困難な場合はこまめに行う。(30分に1回以上換気)
- 教室等の消毒、アルコールを含んだ消毒液の設置(校内環境の管理)

(2) 学習活動について

【レベル1】

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(2022.4.1Ver.8)」に示された感染症対策を講じてもなお飛沫感染の可能性が高い学習活動については、換気、身体的距離の確保や手洗いなどの感染症対策を行った上で実施を検討する。実施する際には、衛生管理マニュアルに示されたレベル2地域における留意事項をできるだけ参照する。

【レベル2】

感染症対策を講じてもなお飛沫感染の可能性が高い学習活動については、可能な限り感染症対策を講じた上で、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討する。「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」を伴う活動については、可能な限り避けるようにする。実施しなければならない場合は、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、回数や時間を絞るなどの感染予防・感染拡大防止対策を講じる。

【レベル3】

感染症対策を講じてもなお飛沫感染の可能性が高い学習活動については、行わないようにする。

感染状況に応じて、学校における対面での指導とオンラインを活用した学習活動を組み合わせることを検討する。

(3) 部活動について

【レベル1】

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(2022.4.1Ver.8)」に基づいた感染予防・感染拡大防止対策を徹底した上で、「日野市における部活動に関する方針」に則った活動を行う。

※午前から午後にかかる活動は、昼食など喫食を伴うことから感染リスクが高まることから、部活動においては昼食を伴う活動を計画しないようにする。

【レベル2】

感染予防・感染拡大防止対策を徹底した上で「日野市における部活動に関する方針」に基づいて活動を行う。練習試合や合同練習等の企画・実施に当たっては、部活動を担当する教員のみで行うのではなく、学校として責任をもって、感染拡大を防止するための対策を講じること。

【レベル3】

感染及びその拡大リスクを低減させながら、なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて活動することとする。中学校体育連盟主催以外の大会参加や学校が独自に行う他校との練習試合や合同練習等は行わない。

(4) 学校行事について

【レベル1】

学校行事は子供たちの学校生活に潤いや、秩序と変化を与えるものであり、それぞれの行事の意義や必要性を確認し、実施に当たっては、開催する時期、場所や時間、開催方法について十分配慮する。

【レベル2】

- ・児童・生徒が学年を越えて一堂に集まって行う行事を控える。
- ・学校運営に欠かすことのできない行事については、人と人との間隔を確保するなど、感染症対策を工夫した上で実施する。

【レベル3】

- ・保護者会など、多くの保護者が参加する行事についてはオンラインでの開催などを検討する。
- ・幼児・児童・生徒の指導に必要な保護者との面談等については、感染予防・感染拡大防止対策を徹底して実施する。

(5) 校外学習等の実施について

【レベル1】

- ・感染症対策について保護者に十分に説明し、保護者の同意を得て実施する。

【レベル2】

- ・校外活動等のうち、日常の教育活動と比較して、感染リスクが高いと考えられるものは行わないようにする。
- ・見学地等の感染状況及び関係自治体の方針等を確認するとともに、保護者の同意を得た上で実施する。また、貸切バス等を利用する場合は、座席を指定するなどして、教員による確認や指導ができる状態にする。公共交通機関を利用する場合は、混雑する時間帯や車両を避ける等、3密を回避することとする。

【レベル3】

- ・実施を見合わせる。

(6) 体育的活動の実施について【レベル2】【レベル3】

- ・実施にあたっては、その意義や必要性を確認し実施方法や内容を検討する。
- ・児童生徒が密集する運動や、近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動については、地域の感染状況を踏まえ、実施について判断する。

(7) 昼食や休憩時間における感染症予防策の徹底【レベル1】【レベル2】【レベル3】

- ① 喫食の際、マスクは喫食直前に外し、喫食後は速やかにマスクを着用する。
- ② 幼児・児童・生徒等が対面して喫食する形態を避け、黙食を徹底する。
- ③ 休憩時間は、大人数、大声、至近距離での会話を控える。

3 家庭における感染症対策の依頼【レベル1】【レベル2】【レベル3】

(1) 家庭における感染症予防策の徹底

東京都が呼びかけている感染予防・感染拡大防止対策に合わせて、下記の内容について保護者の皆様に協力をお願いする。

- ① 3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット（マスクの着用）
- ② 毎朝検温、健康観察（レベル2のときには、家族に何らかの症状が見られる場合は幼児・児童・生徒等を無理せず休養するよう働きかける。 ※この場合、各学校においては、児童・生徒等の学習の保障を図ること。）

- ③十分な換気
- ④手が触れる場所などの消毒
- ⑤タオルなどを共用しない。
- ⑥買い物などで外出する場合でも、人教や時間は最小限とする。
- ⑦同居している家族についても会食などへの参加を控え、外出先からの帰宅時には、手洗い
や消毒などを徹底する。

4 教職員等の健康管理の徹底【レベル1】 【レベル2】 【レベル3】

(1) 基本的な感染症予防策の徹底

① 3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット

- ・授業や会議の際には、必ずマスクを着用する。
- ・正しいマスクの着用方法を確認し、実践するようにする。
- ・不織布マスクが感染拡大防止について最も高い効果をもつことを踏まえ、不織布マスクの着用を働きかける。
- ・手洗いの際は、石鹸やハンドソープで10秒もみ洗いをしたのち、流水で15秒すすぐようにする。

- ②毎朝検温、健康観察（体調不良等の症状がみられる場合など、健康状態に不安がある場合は出勤せず、受信する）
- ③出勤時の健康チェック（健康チェック票に検温結果等を記録する。）
- ④委託事業者に対しても健康管理を徹底する。

(2) 昼食や休憩時間における感染症予防策の徹底

- ①喫食の際、マスクは喫食直前に外し、喫食後は速やかにマスクを着用する。
- ②大人教での喫食は避けるとともに、対面して喫食する形態を避け、会話はしない。
- ③大人教、大声、至近距離での会話を控える。

(3) 家庭における感染症予防策の徹底

- ① 3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット（マスクの着用）
- ②毎朝検温、健康観察（同居者等の家族にも協力を再度要請）
- ③十分な換気
- ④手が触れる場所などの消毒
- ⑤タオルなどを共用しない。
- ⑥体調が悪い方や重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方は、会食を極力控える。
- ⑦同居している家族についても会食などへの参加を控え、外出先からの帰宅時には、手洗い
や消毒などを徹底する。

(4) 勤務時間外における感染症予防策の徹底

- 不要不急の外出を控える。

報告事項第1号

令和4年第1回日野市議会定例会の報告

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年 第1回日野市議会定例会の報告

1. 会 期 3月9日(水)～3月31日(木) 23日間
2. 一般質問 質問者 23名(うち教育委員会関係 11名)
質問件数 46件(うち教育委員会関係 14件)
*教育委員会関係一般質問等要旨 別表1のとおり
3. 議 案 市長提出議案 44件(教育委員会に関するもの 4件)
議員提出議案 2件(教育委員会に関するもの 0件)

(1) 令和3年度日野市一般会計補正予算(第18号)(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
補正総額(歳入歳出)	▲64,129千円	▲205,509千円
予算総額(歳入歳出)	81,023,413千円	10,991,008千円

※教育費内訳 別表2-1のとおり

(2) 令和4年度日野市一般会計予算(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
予算総額(歳入歳出)	66,060,000千円	7,167,633千円

※教育費内訳 別表3-1のとおり

(3) 日野市教育委員会教育長の任命について(同意)

(4) 令和4年度日野市一般会計補正予算(第1号)(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
補正総額(歳入歳出)	1,877,615千円	9,345千円
予算総額(歳入歳出)	67,937,615千円	7,176,978千円

※教育費内訳 別表3-2のとおり

4. 請願 3件(教育委員会に関するもの 1件)

(1) 5歳から11歳へのワクチン接種を中止する請願(不採択)

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
谷和彦 議員	一般質問	【新型コロナウイルス感染症対策に関する支援について】 ・公立小中学校等、感染症対策の（財政的）支援について	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール消毒液や手洗い石けん、非接触型体温計などの衛生管理に係る消耗品については、市立幼稚園、小・中学校の希望に応じて購入している。年度当初に調査の上、年間を通して計画的に納品しており、必要な時期に必要な物品を提示できている。 ・市立小・中学校には、スクールサポートスタッフを配置して、消毒作業に対する人的支援をしている。今後は、スクールサポートスタッフの勤務時間を増やすことで、さらなる学校現場の負担軽減を図っていく。
谷和彦 議員	一般質問	【新型コロナウイルス感染症対策に関する支援について】 ・PCR検査、抗原検査キット等の市内の状況について	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・市立の小・中学校、幼稚園などで、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している可能性が高いと疑われる場合に、学校内での感染拡大の防止、子ども・保護者が安心して教育を受けられる環境を整えることを目的として、濃厚接触者として特定された方以外を対象としたPCR検査を要請により実施している。 ・今年に入り、市立小・中学校では、学級閉鎖が生じており、学級閉鎖となったクラスの希望者に対してPCR検査を実施することで、子ども・保護者の感染不安の解消に努めている。 ・抗原検査キットの活用については、日野市教育委員会によるキットの購入・検査は実施していないが、東京都において、教職員対象の定期的な検査体制が整えられており、各学校へ情報提供を行っている。
葉岸弘行 議員	一般質問	(3.11から11年、日野市の防災対策と被災地との絆について) ・学校体育館のトイレの改修状況について	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・日野第八小学校のトイレは、現在、使用可能な状態となっている。 ・小中学校25校のうち、体育館内にトイレがない学校が7校あるが、このうち5校については、直近にフール棟など利用可能な施設がある。 ・平成29年度から、校舎に併せて体育館および体育館周辺のトイレ改修にも着手し、和武から洋式便器への交換など部分的な改修も組み合わせた。環境改善を進めている。 ・体育館トイレ改修の近年の実績としては、令和2年度：七生中学校の全面改修工事、日野第四中学校及び大坂上中学校で便器の洋式化、令和3年度：日野第三中学校で全面改修工事、令和4年度：平山中学校で全面改修工事を実施する予定。 ・豊田小学校は、現在、体育館にトイレがないため、同校体育館の大規模改修工事においてトイレの増築を行う。 ・今後は施設環境の改善に向け、国や都の補助金の動向を見極め、順次計画的に改修していく。

期 間 記 載 して いた り ず。 詳 細 は 市 議 会 H P を ご 確 認 くだ さ い。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
荻原弘行 議員	一般質問	【3.11から11年、日野市の防災対策と被災地との絆について】 ・未来につなぐ創造カブプロジェクトの現状と新年度の予定	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、気仙沼中学校の生徒・語り部の方を招き、新町交流センターで講演をしていただいた。 ・平成31年度は、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館やリアス・アーク美術館を訪問した。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、訪問は実施しなかった。 ・令和3年度は、これまでのプロジェクトの目的に加えて、SDGs未来都市に住む中学生が、みんなが幸せに生きていける社会について考え、SDGsの目標を達成するために自分たちにてきごころを考えた。オンラインで気仙沼市の方から東日本大震災の被害を伺い、防災について学ぶとともに、気仙沼中学校の生徒会のみなさんと、SDGsの目標を意識した委員会活動や広報についての意見交換を行った。 ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症を踏まえながら、日野市立中学校の代表生徒が気仙沼市を訪問し人々とのつながりを実感するとともに、東日本大震災の被災地からSDGsに関する活動を学び、SDGs未来都市に住む中学生として何ができるかを考え、主体的に活動していくよう支援していく。
荻原弘行 議員	一般質問	【新型コロナウイルス感染症防止対策について】 ・小中学校・幼稚園・保育園の室内等への光触媒を使った感染予防策を	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目の「小中学校における感染状況」は、今年に入り、学級閉鎖が生じる状況となっている。昨年までは、新型コロナウイルス感染症を理由に学級閉鎖に至ることはなかったが、感染力が強いオミクロン株による影響と考えられる。現在も、感染者数は高い水準で推移しており、引き続き、地域の感染状況を踏まえた学校運営が必要と考えている。 ・2点目の「小中学校における感染防止策」については、文部科学省から発出された、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに基づいて、手洗いやマスクの着用、3密の回避などの基本的な感染症対策や、地域の感染状況に応じた活動の制限などを実施し、感染拡大の防止に努めている。 ・3点目の「感染防止のための新たな対策」について、最新の知見に基づき感染防止策を検討、研究していくことも大切と認識している。

詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
馬場賢司 議員	一般質問	【小学校体育館へのエアコン設置など学校施設整備について】 ・小学校体育館へのエアコン設置、今後の取り組みについて	教育部長	<p>・体育館へのエアコンの設置は『学校施設の長寿命化および改築等の整備に関する中長期計画』により、中長期的な視点で、大規模な改造等の中で実施していくことを基本としている。</p> <p>・令和2年度及び3年度において、特定財源を活用し、全中学校8校の整備を完了した。</p> <p>・設置効果としては、屋外での熱中症指数WBTI値が34度の日に、体育館室内はおおよそ25度に抑えられた、屋内における熱中症による緊急搬送は発生しなかったとの報告があり、着実な教育環境の向上が図れた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策として、教育活動を学年単位で行う場合など、広い空間のニーズが高まっており、小学校において、年間を通して体育館の使用が可能となる施設整備が求められている。</p> <p>・これらのことを踏まえ、日野第一小学校及び豊田小学校を除く、残り15校の小中学校について、教育環境の向上を図ることと併せ、避難所となる学校の防災機能の強化を図ることを目指し、令和4年度から各年度5校ずつ、設計業務を行った年度の翌年度に工事を実施し、令和7年度までに15校の整備完了を目標に進めていく。</p> <p>・工事の概要は、費用対効果の高いガスヒートポンプ方式のエアコンの設置、環境負荷の低減を図るため、カバー工法による屋根の断熱工事を計画している。</p> <p>・日野第一小学校は、今後、改築事業について検討するため、令和5年度からリースによる整備を計画している。</p> <p>・豊田小学校については、令和4年度に、体育館の大規模改造工事に併せて、エアコンの設置および屋根の断熱改修の実施を予定している。室外機が小型で、省スペースでの設置が可能となる、電気式ヒートポンプ方式のエアコンを採用する。</p>
馬場賢司 議員	一般質問	【小学校体育館へのエアコン設置など学校施設整備について】 ・今後の学校トイレ改修について	教育部長	<p>・トイレの改修状況は、令和3年度末（令和4年3月末）時点において、校舎全70系統中59系統が完了し、改修率は84.3%となっている。</p> <p>・校舎以外も含めた学校施設全体の改修状況は、令和3年度末、小中学校全体で、校舎の洋式便器の割合（洋便器率）は76.5%、体育館やプール棟等その他のトイレを含めた学校施設全体の洋便器率は72.6%となる。</p> <p>・令和4年度は、小学校1校、中学校1校の工事を進める。令和4年度の工事完了時点では、全ての学校で1系統以上の工事が完了しており、全校舎系統の工事が完了している学校は16校となる。</p> <p>・令和4年度末で工事未実施の系統が残る学校は9校・9系統となる。そのうち、設計が完了している学校は4校・4系統、設計が進行中の学校は2校・2系統、設計が未着手の学校は3校・3系統である。</p> <p>・工事未実施の系統が残る9校の学校について、今後も、現状と同様に、各年度において、2校から3校の改修工事を実施した場合、全ての校舎系統のトイレ改修が完了し、改修率が100%に達する時期は、令和8年度の工事完了時の見込みである。</p>

冊子に記載していません。詳細は市議会議事録をご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
馬場賢司 議員	一般質問	<p>【小学校体育館へのエアコン設置など学校施設整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野第一小学校の建て替えについて、また、中央公民館などの施設との学社融合、学社連携の施設整備について 	<p>教育部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会では学校施設整備について、『学校施設の長寿命化及び改築等の整備に関する中長期計画』を平成28年度に策定した。 ・本計画は、学校施設に求められる機能や設備を、良好な状態に保ちながら、適切に最大限使用すること、整備にかかるコストを総合的に抑制し、財政負担の偏りが生じないよう平準化を図ることを基本方針とし、学校施設の使用年数を、コンクリートの耐久性を考慮して80年と設定している。 ・そして、学校ごとの老朽度などを判定した上で、改築や改修などの施設整備の実施方針と優先度を判定し、順次取り組みを行うこととしている。 ・日野第一小学校については、同計画の実施方針の判定において、昭和38年から40年に建築された校舎は築50年以上が経過し全体的に老朽化が進んでいるため、『優先度は高く、全面改築を実施する』と位置づけている。 ・この計画の策定後、学校を取り巻く環境に大きな変化があった。少人数によるきめ細やかな指導体制、GIGAスクール構想による一人一台端末の導入、インクルーシブ教育を推進するためのバリアフリー化や、脱炭素社会の実現を目指した持続可能な教育環境の整備など「新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現」について、国の令和4年度予算説明資料において、新しい時代の公立学校施設のイメージが示されたところである。 ・また、学校は子どもたちの学びと育ちの場であるだけでなく、避難施設としての市民の防災拠点、地域活動やスポーツ活動にも活用される市民生活の拠点など、多様な役割を担うことを踏まえ、学校と地域社会や関係機関等との連携・協働を一層推進していくことが求められている。 ・これらのことから、本計画自体のあり方と併せ、学校周辺の公共施設との集約化・複合化も視野に入れた新たな計画を検討する必要があると認識している。 ・市全体の公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、各学校の改修等の計画を検討していく。
			<p>教育部参事 (生涯学習担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの超高齢社会の中で、市民の生涯学習の必要性は増していき、その支援を行う施設の整備は今後、ますます重要になっていくと考えられる。しながら、日野市の社会教育施設には古い建物が多く、特に中央公民館は老朽化が進んでいる。このような状況の中で、「日野市公共施設等総合管理計画」においても「多機能集約化の検討」が挙げられていることから、単独で社会教育施設等の建て替えを行うのではなく、地域密着型の市民のつながりがつくりの拠点となり得るような複合施設の在り方を検討していくことが考えられる。 ・今後、庁内での連携の中で人口減少社会にも対応し、全ての世代の学習の持続可能性を実現する社会教育施設等の具体的な在り方を検討していく。

細部を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
白井なおこ 議員	一般質問	<p>【誰もが自分らしく共に生きる社会をめざして（ケアラー・シエンダー・子ども）】</p> <p>・学校に行けない・行かない子供たちの現状について、コロナ禍以前と以後の状況とその特徴をどう分析しているかを問う。</p>	<p>教育部参事 (指導担当)</p>	<p>・不登校児童・生徒数は、令和2年度3月末日現在、小学校103名、中学校189名、コロナ禍以前の平成30年度は、小学校83名、中学校181名だったので、小学校で20名、中学校で8名増えている。</p> <p>・不登校の要因としては、親子の関わり方、本人の情緒的な課題などが、増加傾向である。教育委員会としては、コロナ禍における生活様式や経済社会の変化に伴い、子供たちの生活や環境などが変化しているのではないかと考えている。</p> <p>・また、不登校による欠席が長期化している児童・生徒は、自分が学校に行かない間、学習が進んでしまつことへの不安、友達や先生との人間関係などの不安を抱えていると推測している。一方、多くの児童・生徒は、学びたい、将来に向かって進みたいという気持ちをもっていると考えている。</p> <p>・教育委員会では、不登校の理由が多様化している児童・生徒に対応するため、スクールソーシャルワーカーやわかば教室などの関係機関と連携し、個に応じた支援を進めている。</p> <p>・わかば教室では、長期間の欠席状況にある児童・生徒が、わかば教室から双方向型のオンライン授業を推進している。児童・生徒と指導員が、学習者用端末を通して、交流し、人と人とのつながりのよさを感じられるようにしている。</p> <p>・教育委員会では、令和3年度から不登校の児童生徒に対して学習者用端末を活用し、オンラインによる人と人とのつながりを進めるよう働きかけている。</p> <p>・三沢中学校や日野第一中学校などでは、集団で学ぶことが苦手な生徒のために、いつでも登校できる登校支援教室を開設している。</p> <p>・教育委員会としては、今後も学習者用端末を活用した支援体制の充実を進めていく。</p>
佐藤琢磨 議員	一般質問	<p>【ウクライナ難民を想定した市の対応について】</p> <p>・ウクライナ難民の子供たちへの教育について</p>	<p>教育部参事 (指導担当)</p>	<p>・日野市立小中学校では、海外から帰国した児童生徒や外国人児童生徒の受入れに当たっては、一人一人の実態を的確に把握するよう努め、保護者と連絡を取り合いながら児童生徒の状況に応じた支援を行っている。</p> <p>・ウクライナから子供たちが日野市に避難してきた際も、子供たちが安心して学校生活を送ることができるよう、教育委員会事務局は、学校と関係機関と連携し、児童生徒の状況に応じた支援を行っていく。</p>

冊子に記載していません。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 4 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
佐藤琢磨 議員	一般質問	<p>【「子どもがど真ん中 その④」～コロナ禍の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをど真ん中に置いた日野市をつくることを前提に、学級閉鎖した際の子どもたちの学びを止めないための対応、特にオンライン、Chromebookの活用について問う。 	<p>教育部参事 (指習担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、小学校2年生から中学校3年生までの児童生徒に一人1台の学習者用端末としてChromebookを貸与しており、各学校では、Chromebookを使って、オンラインで課題を受信することや、家庭と学校がオンライン会議システムでつながることができるように、使い方を確認している。 ・現在、小学校2年生以上で学級閉鎖を行った場合には、Chromebookを自宅に持ち帰り、オンラインで学校と家庭にいる児童生徒がつながりあう機会を設けられるよう各学校で工夫している。 ・潤徳小学校では、学級閉鎖中に双方向型のオンラインで健康観察や授業を行った。保護者からは「オンライン授業が実施されてよかった」という声をいただいている。 ・日野第八小学校でも、学級閉鎖中に双方向型のオンラインで健康観察を行うとともに課題配信型のオンライン授業を行った。保護者からは、オンラインでつながることや、「学級閉鎖の間でも生活のリズムを保つことができた」という声や「学習が遅れてしまいう不安を解消できた」という声をいただいている。 ・しかし、双方向型のオンライン授業については、課題もあつた。双方向型のオンライン授業中に、私語を止めず、教員や友達の発言を返ることや、理由がなく無断でオンラインから退出するということがあつた。また、小学生は保護者の支援のもと双方向型のオンライン授業に参加することが多く、保護者に負担がかかるといった声もいただいた。さらに、双方向型のオンライン授業では、家庭の通信環境により、授業配信が途切れることもあつた。 ・教育委員会では、日野市立学校で行われているオンラインを活用した授業についての和見を求め、校長会や副校長会、ICT活用教育推進委員会で共有するとともに、先生方がオンラインを活用した授業を積極的に進められるよう、先生方のICT活用指導力を高めるべく、そして、各学校がChromebookを活用しながら学びを止めない工夫ができるよう支援していく。

趣点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
島谷広則 議員	一般質問	<p>【「教育」は学業だけではなく、体験機会や子ども達の頑張りに、日野市としてもっと向き合おう】</p> <p>・中学3年生の「修学旅行」について、通常、日野市ではどのような計画で進み、実行に移されるのか。</p>	<p>教育部参事 (指導担当)</p>	<p>・市立中学校では、第3学年を対象に、見学地を奈良・京都方面として2泊3日の行程で、実施している。修学旅行は学校が主体となって行う行事であり、旅行業者との契約は学校長が行っている。</p> <p>・修学旅行の企画にあたっての課題は、宿泊する宿舎の決定と新幹線の予約の確定である。</p> <p>・宿舎の決定について、京都市産業観光局が発表している「京都観光総合調査」によれば、新型コロナウィルスの感染以前の令和元年に京都市に宿泊した修学旅行生は70万4千人であり、そのほとんどが、1学期の5月・6月と、2学期の9月から11月にかけて実施されている。</p> <p>・100人を超える団体客を受容することができることに加え、見学地への交通の便もいい宿舎は限られている。</p> <p>・そのため、学校にとっても宿泊先の確保が最優先事項となっており、修学旅行を実施する1年半前には、旅館やホテルと仮契約を行っている。</p> <p>・市立中学校では奈良・京都までの交通機関として、東海道新幹線は修学旅行専用列車を利用しており、利用にあたっては、公益財団法人 日本修学旅行協会に事務局を置く、東京都中学校長会修学旅行対策委員会が調整を行っている。</p> <p>・この、修学旅行専用列車を活用することで、団体予約特急料金の50%が割引となるだけでなく、通常は9か月前からできる団体予約がおよそ2年前には確定することができるようになる。</p> <p>・具体的な準備の流れを、令和3年9月に予定されていた、中学校3年生の修学旅行を例に、説明する。</p> <p>・まず、実施の2年前の令和元年6月に東京都中学校長会修学旅行対策委員会から修学旅行専用列車利用の意向調査がある。</p> <p>・続いて、令和元年9月に正式に申し込みを行い、その11月に修学旅行専用列車が決定する。この決定を受けて、学校は速やかに宿舎の選定を行い、宿舎と仮契約を行った。</p> <p>・小学校の日光移動教室についても、宿舎の確保をするため、実施の1年以上前から宿舎と連絡を取り、仮契約を行っている。</p> <p>・このように学校が主体となって実施する宿泊行事は、実施の2年前から宿舎や交通機関等を決定し、宿泊行事の準備を進めている。</p>
島谷広則 議員	一般質問	<p>【「教育」は学業だけではなく、体験機会や子ども達の頑張りに、日野市としてもっと向き合おう】</p> <p>・このコロナ2年間に於ける反省点も含め、柔軟性を発揮し実施に向けた検討状況について、日野市の現時点での見解、検討状況も含め伺う。</p>	<p>教育部参事 (指導担当)</p>	<p>・令和3年度の修学旅行は、新型コロナウィルスの感染症の影響を受け、令和2年度に引き続き中止となった。</p> <p>・教育委員会と中学校長会は、修学旅行の実施時期の変更も検討しましたが、修学旅行の宿舎と交通機関は、およそ2年前に確定しており、修学旅行が実施される第3学年になってからの計画変更は困難だった。</p> <p>・そのため、校長会と協議をした結果、修学旅行中止の判断となった。</p> <p>・教育委員会で、修学旅行の中止に伴い、各学校に対して子供たちの思い出となる代替行事の実施について検討していただいたが、修学旅行を楽しみにしていた中学3年生の皆さんは、とても残念な気持ちをもたれたことと思う。</p> <p>・今後についてだが、教育委員会事務局では、令和4年度以降も教育活動が新型コロナウィルスの影響を受けることを予想し、特に宿泊行事については、令和4年度に学校関係者からなる宿泊行事検討委員会を立ち上げ、宿泊行事の目的や意義、宿泊地や実施の時期についても改めて見直しを行い、子供たちの学びだけでなく大切な思い出となる宿泊行事について検討していきたいと考えている。</p>

掲載が記載していません。詳細は市議会議事録をご覧ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
島谷広則 議員	一般質問	<p>【小中学校生徒の表彰など「成果」につなげた情報の取り扱いについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会出場や「おめでとう」など、学校で掲げる横断幕について、掲げる学校と掲げない学校とで「違い」が出ている実態について、日野市の課題認識を問う。 	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に、横断幕を掲示する場合は経過について確認したが、まず、学校は、関東大会や全国大会に出場した生徒の保護者から、横断幕の掲示について依頼を受ける。 ・校長は依頼内容を検討し、学校のフェンスや校舎内の掲示板などに横断幕を貼る許可を出している。 ・作成に係る費用は、大会に出場した生徒の保護者や、部活動保護者などが負担するのが一般的というところである。 ・他地区では、同窓会や地域が、横断幕の費用を負担している事例があることも分かった。 ・一方で、生徒の個人名が公に掲示されることについて、個人情報管理の観点から不安を感じているという意見もあり、陸上競技などの個人競技については、校内での掲示にとどめている学校もあった。 ・生徒の興味関心は、学習、ボラテンティア活動、音楽、ダンスなど、大きく広がっており、学校外のサークルに所属しながら、自分の関心のあることについて研鑽を重ねる生徒も増えてきている。 ・教育委員会としては、部活動に限らず、生徒一人一人が自ら設定した目標に向かって、自らの力を最大限に引き出そうとする活動を認め、生徒一人一人の努力を称賛するとともに、周りの生徒の励みとなるよう支援をしていきたいと考えている。 ・すでに、学校では、作文やボスターのコンテストなど、様々な活動で表彰を受けた生徒や保護者がから、学校での表彰式の実施について依頼があった場合、全校集会などで紹介し、その生徒の努力を称えているということである。
岡田じゅん子 議員	一般質問	<p>【長引くコロナ禍、子供のいのちと心を守り、発達と学びの保証が最優先の教育を！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における感染状況、保健所との連携がどこまでできてきているかを問う。 	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況だが、令和4年1月1日から2月28日までの2か月間の陽性者数は児童が904人、生徒が118人、教職員が63人。特に、小学校1年生から3年生の陽性者が523人で、児童生徒と教職員の陽性者全体の51%を占めている。 ・学級閉鎖は2月28日までで46学級。このうち7学級は感染状況を把握するため、短期間の学級閉鎖を行ったもので、5学級については都立高校の推薦入試を控え、大事をとって学年閉鎖を行ったものである。 ・したがって、校長が教室内において新型コロナウイルス感染症が拡大する可能性が高いと判断し学級閉鎖を行ったのは、34学級となる。 ・保健所との連携について、市立学校の教職員や、児童生徒が陽性者となった場合、保健所は学校に濃厚接触者の特定のための調査を依頼していましたが、学校は保健所の調査が円滑に行われるよう、あらかじめ行動履歴を聞き取ることも、学校の感染予防対策、学習内容の確認や座席表の作成、学級内の体調不良者などの状況をまとめるなどして保健所の調査に協力した。 ・しかし、東京都全体の新規陽性者数が1万人に迫った1月後半から、保健所の業務がひっ迫してきたため、学校長は、国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症の患者に対する積極的疫学調査実施要領」に示された濃厚接触者の特定に基づいて、調査を行い、濃厚接触者候補者を特定している。 ・校長が濃厚接触者候補者の特定に迷ったときには、南多摩保健所や日野市健康課と連絡を取りアトハイリスをいただき、濃厚接触者候補者を特定し、感染が拡大しないよう対策を検討している。

冊子に記載してあります。詳細は市議会HPをご覧ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
岡田じゅん子 議員	一般質問	<p>【長引くコロナ禍、子供のいのちと心を守り、発達と学びの保証が最優先の教育を！】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的根拠に基づくコロナ対策徹底のため、子供と教職員を対象に定期的なPCR検査を行うことを求めるが、市の認識を問う。 	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会としては、市立幼稚園・小中学校において、全幼児、全児童、全生徒、全教職員を対象とした、定期的なPCR検査を実施することは考えていない。
岡田じゅん子 議員	一般質問	<p>【長引くコロナ禍、子供のいのちと心を守り、発達と学びの保証が最優先の教育を！】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級閉鎖を行う動きが顕著となる中、授業内容の精選と子供たちの学習保障、心のケアについての取組を問う。 	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> 学校には、新型コロナウイルスと共に生きていかなければならないという認識に立ち、その上で子供たちの健やかな学びを保障することも念頭に置いて教育課程を編成していただき、学校経営を行っている。 教育委員会事務局では、9月の分散登校や学級閉鎖の影響のため、学習指導要領に定められた授業時数を確保することが難しい学級があることを承知している。そのため、学習指導要領に示された標準時数にこだわらず、各教科バランスよく指導していただくとともに、確実に学習内容を指導するよう各学校にお願いをしている。 その中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2回学級閉鎖を行った小学校が2校あるが、どちらの学校でも、当該学年の学習内容については計画通り指導できている、という報告をいただいている。 次に、心のケアについて、学級閉鎖となった児童生徒に、学習用端末を持ち帰らせ、朝の会と帰りの会をオンラインで行っている。健康観察を行うことでもある。 また、学習用端末を一人で活用することが困難な低学年の児童については、電話で連絡を取るなどして、子供たちの不安に配慮するようにしていただいている。 こういった学級閉鎖期間中のオンラインを活用した学びの工夫や、子供たちの心のケアについては、校長会等で情報共有をいただいている。 学校の配慮に対して保護者の方から感謝の声と、学校からは円滑な授業再開ができたという声が届いている。
岡田じゅん子 議員	一般質問	<p>【長引くコロナ禍、子供のいのちと心を守り、発達と学びの保証が最優先の教育を！】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の感染状況、さらなる拡大へと発展した場合における対応を問う。 	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が陽性と判断された場合、学校では、感染経路と行動履歴、座席表などを活用して陽性者の周りに体調不良者等がないか、授業内容を確認して感染拡大につながる活動があったかなど、丁寧な聞き取りを行っている。 この聞き取りの結果を基に、学級閉鎖が必要かどうかの判断が行われることになる。 これまで、学校と保護所が、濃厚接触者の特定するために相談した際、学校生活の中で児童生徒が濃厚接触者として特定された事例は1例のみである。 この事例だが、言葉科の授業で行われたリコーダーを扱った授業についても、学校の感染症対策は文部科学省のマニュアルに基づいて徹底されたものであり、保護所からは、学校の感染症対策に問題はなかったと評価を受けている。 教育委員会では、子供たちや保護者が安心して登校でき、教職員も安心して勤務することができるよう、新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止対策を、引き続き進めていく。 今後新たなコロナウイルス感染症の流行が拡大した場合に備え、双方向型のオンラインや課題配信型のオンラインなどの実践について情報交換を行うなど、ICT機器を活用した学びについて、さらに進めていく。

期首に記載していません。詳細は市議会議事録を参照してください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
池田としえ 議員	一般質問	<p>【新型コロナウイルス感染症患者の死者数と日本、世界で起きている裁判等に迫る！】</p> <p>・既に接種が始まっている中学校生徒等の欠席・早退・遅刻・保健室登校等</p>	教育部参事 (指簿担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、令和3年8月16日に、12歳から15歳を対象としたワクチン接種の予約受付を開始し、翌日から接種が始まりました。生徒が接種を希望した場合は、各御家庭で行なっているため、日野市立学校では、ワクチンを接種した生徒の名前、人数を把握していません。 ・生徒がワクチン接種後の副反応により体調不良が生じ、登校ができなくなった場合、ワクチンの副反応により登校ができないと申し出があったときは、学校では「欠席」の扱いにはせず、「出席停止」として扱っています。よって、欠席の数が影響が現れることはないと考えています。 ・続いて、保健室の利用状況だが、保健室の利用状況や、その内訳についての記録の仕方は、各校で異なっており、また教育委員会への報告も義務づけられていないので、日野市教育委員会では把握していません。 ・出席停止の扱いについては、ワクチン接種後の副反応によるものについては、出席簿の記録上、「新型コロナウイルス感染症対応」として扱っている。この中には、新型コロナウイルス感染症の陽性者、濃厚接触者他、コロナ感染不安などにより登校できない生徒の数も含まれており、ワクチン接種後の副反応により出席停止となった生徒のみを算出することはできない。 ・児童・生徒がワクチン接種を受けるかどうかは、本人の意思と各御家庭の判断に任ざれており、教育委員会事務局や日野市立学校では、ワクチン接種に関するデータを集計することはしていません。 ・よって、ワクチン接種と出席停止音数の増減との関連については分析していません。
鈴木洋子 議員	一般質問	<p>【子育て世帯を支える体制強化を問う】</p> <p>・学校における福祉教育の状況について問う</p>	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、日野市立小・中学校に、医療的ケア児の在籍はないが、医療にかかわる配慮が必要な児童は在籍している。 ・これまで小中学校に特別な支援を必要とする児童・生徒が就学・進学される場合、事前に発達・教育支援課がコーディネートをして、学校と児童生徒、そして保護者が話をする機会を設けている。保護者が入学する児童生徒の医療にかかわる配慮点を学校と話し合い、学校が児童生徒の状況を把握したうえで、児童生徒が安心して学校生活を送るうえで必要な合理的配慮について共通理解を図っている。 ・今後、医療的ケアを必要とする児童生徒が、日野市立小・中学校への入学を希望された場合には、現在と同様な方法をとるとともに、学校だけでは補うことのできない支援・配慮等について対応できるように、教育委員会において医療的ケアを必要とする児童生徒を支援する仕組みづくりを行い、準備していく。
近澤美樹 議員	一般会計予算 特別委員会	<p>【学級支援員】</p> <p>・配置の根拠</p> <p>・配置数、配置決定のプロセス</p> <p>・配置増の要望に対する考えは</p>	発達・教育支援課長	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害等により配慮を要する児童生徒で介助が必要な場合に配置する。 ・令和3年3月時点で小学校17校全校に延べ40名、クラスに1名配置。学校からの申し出により配慮しており、年度途中での配置も可。発達・教育支援課の職員、指導主事が学校で現状を確認して決定している。 ・現状の流れの中で配置を考える。状況をみながら調整していく。

詳細を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
近澤美樹 議員	一般会計予算 特別委員会	○学校図書館司書 ・今後の司書配置の考え方（配属計画）	教育部参事 （指導担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・前回応募者が少なかったため、裾を広げていくことも課題とし、まず人数を増やすことを最優先した。 ・依然として応募者が少ないことが課題であり、全校配置にあたり十分な見通しが立たない、むやみに人数を増やすのではなく、様子を見ながら確実に一歩ずつ進めていく。 ・先進自治体である形並区を参考として、R4勤務時間数は減少するが、図書予算の充実や学校司書設置校を研究奨励校として指定し、教員や市民に情報提供をしながら先進的に研究した学校を核として広めていきたい。 ・教員には総合的な教育活動を作成してもらったり、こういう資料で指導したかを検証して、活用の成果を検証をし、各校に展開していく。
近澤美樹 議員	一般会計予算 特別委員会	（学校トイレ改修工事） ・残り全校（9校）の改修を1年で実施できな いか	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金は重要な財源ではあるが、市負担も大きい。 ・令和3年度の第18号補正予算で繰越した日野第五小学校、平山中学校の例でいえば、事業費が約2億909万円、財源内訳は国庫補助が約4,244万円、都補助約4,446万円、残りが市負担で約1億2,219万円になる。市負担のうち、市債の借り入れや基金の取り崩しの財源があるかもしれないが、借金が増えて貯金が減るので、大きな資金が必要なことには変わりない。 ・また、残りの9校を1年でととなると、相当な事業規模になるので、年度の財政収支の均衡を考えると、必要もある。 ・学校教育では、当面の間、豊田小学校の体育館や既存校舎の大規模改修、小学校の全体体育館へのエアコン設置、そのほかにも老朽化した学校施設の各種管轄や修繕にも、引き続き予算を確保したいと考えている。 ・トイレ改修の重要性は認識しているところですが、各事業の優先順位を考えて、計画的な整備を進めていく。 ・あわせて、多摩地域26市の教育委員会や市長部局と連携して、東京都に各種補助制度の延長等を要望していく。
近澤美樹 議員	一般会計予算 特別委員会	【小学校体育館エアコン設置】 ・なぜ3年間での設置計画なのか ・2年間でできないのか	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・1校あたり、おおよそ5,000万円見込んでいる。事業規模も大きく、財政上の負担も決して少ないものではないため、3か年に分割実施する計画を立てている。 ・小学校体育館へのエアコン設置の重要性は認識しているところだが、各事業の優先順位を考えて、計画的な整備を進めていく。
近澤美樹 議員	一般会計予算 特別委員会	【三沢中学校環境調査業務委託料】 ・防音壁の費用負担はどちらか ・騒音は鉄道事業者の責任ではないか ・防音壁を近隣の地区センター、学童クラブま で延長できないか	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・防音壁新設工事にあたり市と京王電鉄で協定書を締結している。新設時の費用負担は市、維持管理も市なので、更新時の費用負担も市になると考えている。 ・鉄道事業者の責任がどうか把握していない。 ・現状を確認し、関連部署と情報共有して、必要な対応を検討していく。
近澤美樹 議員	一般会計予算 特別委員会	【市立幼稚園適正規模・適正配置】 ・答申では1園閉園となっているが、閉園せず に3歳保育を行うべき	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児人口が減少しており、答申でも選択と集中が必要としている。 ・1園を閉園して、残りの2園で幼児教育の充実を図る。

追加記載していません。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
有賀精一 議員	一般会計予算 特別委員会	【高校生奨学金】 ・充実してきたことはよいこと、今後の方針は	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から定員枠50名を廃止した。 平成27年度は認定者数50人・支給総額592万円であったのが、令和2年度は認定者数171人・支給総額2,040万円となり、支援の充実が図られてきた。 今後について、国教委の支援制度が拡充する中、他市では制度を廃止するところが出てきている状況ではあるが、教育委員会としては、現在の水準を維持していきたいと考えている。
有賀精一 議員	一般会計予算 特別委員会	【GIGAスクール】 ICT活用が家庭状況などでだれひとり取り残さないよう進めて欲しい	教育部参事 (ICT活用教育 担当)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より教員への活用支援を行いながら本格的な取組を実施し、利用が広がっている。 令和4年度予算で学校現場からの要望がある小学校一年生用学習端末を導入する予定。 家庭のWi-Fi環境については、アンケート調査によると「ない家庭」は、数%であった。 各学校へは、貸出用モバイルWi-Fiを配布している。
有賀精一 議員	一般会計予算 特別委員会	【ICT利活用状況】 ・低学年を含めたオンライン授業の実態	教育部参事 (教育指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> 実情としては、課題配信型の授業が多かった。 オンラインを活用した授業というよりも、朝の会等で顔を見せ合うことが子供たちの安心感につながった。臨時休校等で家庭内の虐待件数が増えたということも言われているが、教員はオンラインで子供たちの顔を見ることができた。オンラインは、子供たちの心の安定という面で効果があった。
有賀精一 議員	一般会計予算 特別委員会	【園遊学園】 ・成果報告 ・自治体が教員派遣状況	教育部参事 (教育指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から2年間教員を派遣している。新型コロナウイルス感染症対応による移動の制限があり1度だけであったが、教員・教育委員会の職員が軽井沢園遊学園の視察研修に参加した。 市立・小・中・中学校教員が参加するわくわくプロジェクトや平山小学校で行われた研究発表会に園遊学園の教員等が参加し、ご指導いただいた。 軽井沢園遊学園の視察研修に参加した教員の意識が変わっていくのが分かった。熱量を一時だけではなく恒常的に上げていくために、令和4年度以降帰郷教員にも第3次日野市学校教育基本構想に関わるプロジェクト等に参加してもらおう。 長野県が教員を派遣している。教員派遣については、長野県教育委員会がかかわっていると聞いている。
有賀精一 議員	一般会計予算 特別委員会	【給食費の口座引落とし負担が多い、市の見解を求める】 ・他市は公費負担が多い、市の見解を求める	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 他市の状況を確認し、今後の対応を研究する。
中嶋良樹 議員	一般会計予算 特別委員会	【小学校の自閉症・情緒障害固定学級開設】 ・いつから、どこで学校で開設されるのか ・市内1校なので遠方からの通学への対策は ・小学校での開設に至った市の考え	教育部長 発達・教育支援課 長	<ul style="list-style-type: none"> 東光寺小学校に、令和5年度設置予定で準備を進めたい。 スクールバスの運行は予定していない。学区外から通学される場合、通学費を補助する。低学年については、保護者の送迎も視野に考える。 就学相談の中で、自閉症・情緒固定学級が適切と思われる児童が毎年一定数いる。安心して学べる場を提供するのが市の役目であると考えている。

詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【新たな学校づくり・社会教育施設づくり】 ・事業目的 ・基礎調査（委託業務）の内容	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 目的はGIGAスクール構想や少人数学級への移行など、時代の変化や教育内容の多様化に対応するため、日野市の未来を担う子供たちには必要で、教育・学習環境のあり方を検討する。 基礎調査の内容の1つ目は、学校施設を取り巻く現状について、実態把握を行う。将来的には人口減少が懸念される一方で、多摩平地域では大規模マンションが建設されて人口が増加。また、多くの学校は建築後30年を経過しており施設更新が求められる。現状ではさまざまな方にギャップが出ているので、その課題を整理する。 2つ目は、学校施設に求められる公共施設としての役割や機能について検討する。学校は教育・学習以外にも市民活動、スポーツ、地域防災拠点としての役割も果たしている。学校施設の周辺に配置されている公共施設の現状や地域ともどもある学校施設のありかたについても調査研究をすすめる。
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【新たな学校づくり・社会教育施設づくり】 ・文部科学省は特にZEB化の推進と他の公共施設との複合化に注目している。調査結果によつて、新たな視点を踏まえ、学校施設の建て替えを前倒しする可能性について	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省が示したイメージの中では、「新時代の学びに対応した教育環境の向上」の視点として、「1他施設との複合化」、「脱炭素の推進」についても示されている。 日野市においても学校施設の周辺に配置されている公共施設との複合化や環境に配慮された学校施設として実現可能性を検討していく。 今後の学校施設は、この基礎調査の結果を踏まえて、令和5年度以降、個別施設計画をリニューールの上、老朽化の度合いや国の財政措置などを勘案しながら計画的に更新していく予定である。
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【外国人児童生徒への講師謝礼】 ・市はワクワインアザシタの受け入れ準備を進めているようだが、子供の学びの保障も課題。準備はすすんでいるのか。	教育部参事 （教育指導担当）	<ul style="list-style-type: none"> 外国人児童生徒の通訳講師は授業の通訳、読み書きの補助。担任と家庭との通訳の手伝い。講師は登録制で、R3の講師の数は7名（1名中国語、6名英語）であった。 ワクワインアザシタを話す方は少ない。市教委の力だけでは難しいので庁内や民間と連携はとっていきたいと思っている。東京都へも相談し、できるだけ速やかに対応できるように努力はしていく。
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【特別支援学級開設経費】 ・何人程度を導込んでいるのか ・想定を上回る希望がある場合は対応できるのか ・固定級がない状況での課題、何が解消されるのか	発達・教育支援課 長	<ul style="list-style-type: none"> 1学年2名程度で全体で12名程度、最大で1学級8名、3学級を想定している。 3クラス用意できて、1クラスの標準が8名とされているので、その範囲の中で始めるが、これを上回る場合は、対応を検討していく。 固定級がないことで特別支援教室や知的固定級に入っている場合があるが、多くが知的な遅れがない。適切な学びの場を提供することが市の役割。

期首を記載していません。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【学校給食安心確保事業】 ・昨年まで予算計上されていた「学校給食安心確保事業経費」がない理由	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食安心確保事業は、市内小中学校で、年3回、学校給食食材の放射性物質検査を実施し、その検査結果をホームページで公表することで、保護者や市民の不安解消と、学校給食における一層の安全・安心を確保するものである。 平成24年度より、本事業を実施してきたが、令和3年度をもって事業終了とした。廃止の主な理由は3点。 ①平成24年の事業開始以降、保育園、小・中学校ともに基準値を超える放射性物質の検出はないこと。 ②東京都などが検査を実施した市場で出回っている安全な食材を、さらに検査していること。 ③平成24年度の検査開始後は、食材の安全性に関する質問が保護者会等であったが、近年では問い合わせ・質問等がないこと。
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【学校給食安心確保事業】 ・どのようなプロセスを経て決定したものか (他市の状況も)	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 廃止に至る背景として、市教育委員会では、事業開始から年数が経過し、食材の安全性に関する保護者の不安が、十分にやわらいできたと考えていた。一方で、安全性が担保された食材を、重複して検査することについては、限られた財源のなかで、いつまで続けるかという課題認識があった。 令和4年度の予算編成にあたり、給食用食材の放射性物質検査を実施している保育園などとも連携して、事業の効果や目的、財源などを総合的に勘案した結果、令和4年度の予算計上を見送ることとした。 あわせて、日野市における放射能汚染への不安に対し、行政としての対応を検討するため、副市長を責任者とし、部長職等で構成した放射能対策会議が平成23年より開かれており、同会議において、今回の事業廃止について会議決定されており、 他市の状況に目を向けると、市教育委員会では把握している限りでは、現在、26市中14市が検査を実施していない。年々、検査を終了する自治体が増えている状況である。
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【学校給食安心確保事業】 ・調査の回数を減らす、段階的な検討はなされたのか ・保護者や市民への公表はどのような形を考えているのか	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の予算編成にあたり、検査回数を減らすことも検討したが、今回、事業を廃止する趣旨は、重複している検査の解消によるため、令和4年度から全面的に廃止することとした。 現在、放射性物質検査の結果をホームページにて公表している。令和4年度になったら、ホームページにて、事業終了について情報提供を行う予定である。
白井菜穂子 議員	一般会計予算 特別委員会	【学校給食安心確保事業】 ・食の安全は残留農薬や遺伝子組み換え、ゲノム編集などの懸念もある。それらの安全性はどのよう担保されているのか	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 日野市の学校給食では、日野市学校給食食品安全指針に基づき、安全な食品の使用に努めている。 日野市の学校給食は全校自校調理方式で実施され、各校に栄養士を配置しています。その利点を生かし、生産過程が把握できる日野産野菜の積極的な使用などを行っている。引き続き、児童・生徒、保護者および市民の皆様へ、より信頼される学校給食を目指していく。

チラシを配付しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
伊藤あゆみ 議員	一般会計予算 特別委員会	【英語教育】 ・令和4年度から利用する計画のTOKYO GLOBAL GATEWAYとは、どのようなものか。 ・ALT活用における成果と課題、また、課題を解消する手立てはあるか。	統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・TOKYO GLOBAL GATEWAYは、東京都教育委員会が江東区に開設した体験型英語学習施設であり、令和5年1月に立川市にも開設される予定である。令和4年度は日野第三中学校と平山中学校を利対対象とし、効果の検証を行う。 ・外国人ALTの活用は、「生きた英語」に触れられるなどの利点があるが、日本語でのコミュニケーションが取りづらく、英語が不得意な小学校の教員には負担があった。 ・令和4年度は小学校に日本人ALTを配置するとともに、海外文化体験プログラム「Mimmyアドベンチャー」を導入し、外国の方や外国の文化に触れる機会を設ける。
岡田じゅん子 議員	一般会計予算 特別委員会	【コロナ感染症対策】 ・学校からの陽性者のお知らせが学級関係だけになったこと ・教職員への定期的な抗原検査の周知がいきわたっていない ・定期的なPCR検査（要望）	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委から学校長に通知をしている。個々の教員が把握しているかまではわからない。 ・先日岡田議員から指摘された後、改めて学校課長から周知を図った。 ・抗原検査の実施状況は学校から東京都へ直接申請なので、市教委としては把握していない。
奥住匡人 議員	一般会計予算 特別委員会	【学校プール改革】 ・プール改革事業経費が増額となったのはなぜか。 ・令和3年度の民間プール活用実施校の評価はどのようなになっているか。 ・令和4年度新規校2校の選ばれた理由 ・民間プールを実施しない学校の理由	統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、新規に日野第六小学校と七生緑小学校で民間プールを活用するため、増額となっている。 ・2校が選ばれた理由は、日野六小は、昨年度から日野市多摩平のトムホーツククラブに近い日野六小との活用を検討していたものが突っ込んだもの。七生緑小は多摩市関戸にある民間プール（ナスススポーツクラブ）と距離的に近く、民間プールとの調整目的があったもの。 ・令和3年度に活用した4校（日野第三小学校、滝合小学校、栗光小学校、旭が丘小学校）からは、水泳指導や施設管理に係る業務負担が軽減されたとの評価を得ている。 ・民間プールを実施するかしないかの判断として、活用できる民間プールがあるかということが重要である。その他、学校と民間プールまでの距離、学校の規模により判断している。学校の規模が多いと民間プールまでの送迎バスの費用が過大となるためである。
中嶋良樹 議員	一般会計予算 特別委員会	【オリンピックのレガシー】 ・東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、今後どのような取組をレガシーとして継続していくのか。	教育部参事 (指導担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育の目的は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を、子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉え、共生社会の実現に必要な「5つの資質（ボランタリー・アーマイメント・障害者理解・スポーツ志向・日本人としての誇りと自覚・豊かな国際感覚）」を育成することである。 ・各学校は、学習指導要領に示された各教科等の学習内容と、オリンピックやパラリンピックを関連付け、「4つのテーマ」（オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）と「4つのアクション」（学ぶ（知る）、観る、する（体験・交流）、支える）を組み合わせた取組を展開してきた。 ・令和4年度も、各学校が展開してきたオリンピック・パラリンピック教育の中から、これらも継続させる活動を、各学校が「学校2020レガシー」として設定し、教育課程に位置付けている。 ・日野市教育委員会事務局は、日野市立小学校全17校を対象に、日野レッドドルフィンズによる、小学校タグラグビー教室と、日野市空手道連盟による小学校空手道体験教室を実施する。 ・各学校では、近隣企業や大学のアスリートを招聘し、走り教室や講演会を実施する。また、「障害者理解」を推進するために、ハラリンピックを題材としたインクルーシブ教育を実施する。

週刊を記載していません。詳報は市議会のHPをご確認ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
奥住匡人 議員	一般質問	<p>・「日野・百草スマホで集めるスタンブラリー」の成果と課題について。</p> <p>・今回の事業を一過性のものとせず、市民や事業者、近隣市などと連携して拡充させることを期待する。</p> <p>・トイレや休憩場所、案内表示など、百草地区におけるハード面での環境整備を要望する</p>	教育部参事 (生涯学習担当)	<p>・「日野・百草スマホで集めるスタンブラリー」は多くの皆様に参加いただき、好評であった。雑誌『散歩の達人』での特集記事掲載、案内冊子13,000部の配布、京王線と多摩モノレール各駅でのポスター掲示、京王線の車内広告などを通して、百草地区の魅力を広く発信することができた。また、地元自治会や事業者からの多大な協力を得られたことも、市民と行政が一体となって地域の活性化に取り組むうえでの大きな成果であった。</p> <p>・この事業の成果をどのように展開させるかが今後の課題になる。地域の住民や市民の団体、事業者、および多摩市など近隣の自治体などと連携しながら、地域を活性化させる仕組みを作りたい。</p> <p>・トイレや案内表示などハード面での整備が立ち遅れており、関係各課や地元市民と連携して整備を進めることが課題となる。</p>
奥住匡人 議員	一般質問	<p>多摩市との広域連携事業「たまたまびびラス構築広域連携事業」について (川崎街道今昔クイズの成果と課題について)</p>	教育部参事 (生涯学習担当)	<p>・多摩市公民館をパートナーとした「たまたまびびラス構築広域連携事業」以下、たまたまびびラス事業」を実施。</p> <p>「たまたまびびラス事業」では、多様な主体との連携、ICTを活用した学びの保障、市民の情報発信力強化、多世代交流を実現することによる広域的な学習環境の構築を目的に、4つの事業を柱としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多摩地域の大学と連携し、2市市民が講義に参加できる仕組み「市民大学」 2. ICTを市民も自由に活用し、学習成果を発信できるよう教材等を整備する「動画制作講座」 3. 大学連携のネットワークを活かした多世代交流イベント「SDGsカードゲーム」 4. アプリ「まちクイズ」を活用したまちあるき「川崎今昔クイズ」 <p>・「たまたまびびラス事業」の実施により、時代の要請に耐える新しい公民館の在り方が考えられた。「川崎街道今昔クイズ」では、ふるさと文化財講座及び民間事業者との連携により、市民が百草地域の歴史や文化、魅力を学び、新しいつながりを得られる学習環境を整えることができた。今後は、多摩地域内に拡張していくよう進める。</p>
島谷広則 議員	一般質問	<p>地域力を活かした「子ども連への体験・体感」機会を支援する取り組み、イベントへの補助金支出も含め、市としてコロナ禍の子ども連と向き合う今後の姿勢、見解を伺う。</p>	教育部参事 (生涯学習担当)	<p>・市内の小学生・高学年を対象に「夏休み体験型講座」を定期的に実施している。事業では、富士電機・日野自動車、市内の企業の方々等に講師を依頼している。また、「毎てつなぐプロジェクト」では、地域活動を行う団体「釜系(さん)の会日野」と共同しながら、子どもたちが楽しく体験できる学習プログラムを実施している。日野市には様々な歴史・文化・自然があり、子ども連の体験学習を充実させていくには、多様な技術・知識を持つ市民等に協力を得ることが必要である。本年4月に京王電鉄との協働体験事業を企画し、春休み中の子ども連に京王線の電車の魅力を体験してもらった講座を実施する。今後も、中央公民館では地域活動を行う市民等との連携を進め、子ども連が日野の魅力を感じてもらう講座等を実施していく。</p>
馬場賢司 議員	一般質問	<p>スマホ教室などデジタルへの支援について</p>	教育部参事 (生涯学習担当)	<p>・令和3年度の取組みとして、高齢者を対象とした「スマホお助け方講座」を開催し計453名、また、市民がスマホ講師になれる「スマホお助け方養成講座」を開催し、延べ177名が参加した。</p> <p>・令和4年度も高齢者を対象とした「スマホお助け方講座」及び「スマホお助け方養成講座」を継続して実施し、市民が学習により地域貢献できる「学びの循環」を推進していく。</p> <p>・「スマホお助け方養成講座」で誕生した市民講師を中心として、「スマホお助け方相談サロン」を定期的に開催し、地域の居場所づくりにも取組んでいく。</p>

細部を記載していません。詳細は市議会HPをご覧ください。

令和4年第1回市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
有賀精一 議員	一般会計予算特別委員会	シニアICT支援事業について（令和3年度及び令和4年度の取組み）	中央公民館長	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より高齢者のデジタル格差解消の取組みとして、高齢福祉課・中央公民館・地域協働課の3課で連携して事業を実施している。中央公民館は、デジタル活用支援の「学び」の部分を担当し、「スマートフォン使い方講座」と高齢者にスマートフォンの基本操作を教えることのできる、市民講師を養成する「スマホお助け隊養成講座」を実施している。スマートフォン使い方は、計19回で453名の参加、スマホお助け隊養成講座は、計6回で延べ177名に参加があり、市民が学習により、地域貢献できる「学びの循環」を実現できた。 令和4年度も3課での協働事業を継続し、中央公民館は「スマートフォン使い方講座」と「スマホお助け隊養成講座」を実施する。また、新たな取組みとして、スマホお助け隊養成講座で誕生した市民講師の協力を得ながら、市内の公共施設を活用した「スマホ相談サロン」を開催し、地域の居場所づくりに取り組んでいく。
須崎貴寛 議員	一般会計予算特別委員会	シニアICT支援事業（各課の連携）	中央公民館長	<ul style="list-style-type: none"> 高齢福祉課・中央公民館・地域協働課の3課で連携事業を実施し、中央公民館は、高齢者のデジタル活用支援の「学び」を担当している。今後も市民が学習により、地域貢献できる「学びの循環」を育てていく。

週刊を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和3年度 日野市一般会計補正予算(第18号)

別表2-1

教育費(歳出)

単位:千円

	補正前の額	補正額	合計	主な内容
教育総務費	2,317,055	▲112,745	2,204,310	
事務局費	1,103,226	▲67,473	1,035,753	ICT活用教育推進運用経費 使用料及び賃借料 校内LAN機器等借上料 ▲5,337 他
教育指導費	138,859	▲5,995	132,864	一人ひとりの確かな学力・生きる力育成経費 報償費 学習指導サポーター謝礼 ▲1,400 他
教育センター費	43,883	▲119	43,764	教育センター施設管理経費 委託料 トイレ清掃業務委託料 ▲66 他
教育支援費	55,279	▲907	54,372	特別支援学級運営経費 報償費 学習指導講師謝礼 ▲290 他
放課後子ども育成費	968,283	▲38,251	930,032	※子育て課
小学校費	2,877,901	239,737	3,117,638	
学校管理費	559,056	▲24	559,032	学校施設管理経費 需用費 電気料 9,103 他
教育振興費	358,423	▲5,319	353,104	移動教室・就学旅行経費 使用料及び賃借料 ハヶ岳移動教室バス借上料 ▲3,819 他
学校保健給食費	761,043	5,304	766,347	学校保健経費 需用費 消毒液ほか 8,000 他
学校建設費	1,199,379	239,776	1,439,155	施設整備管理経費 工事請負費 豊田小学校東校舎改築建築工事(債務負担行為) ▲74,605 他
中学校費	871,205	115,772	986,977	
学校管理費	300,052	▲2,316	297,736	学校運営経費 委託料 校舎管理業務委託料 ▲1,315 他
教育振興費	236,151	15,996	252,147	移動教室・就学旅行経費 負担金、補助及び交付金 移動教室補助金 18,233 他
学校保健給食費	322,390	▲1,235	321,155	学校保健経費 需用費 消毒液ほか 3,520 他
学校建設費	12,612	103,327	115,939	施設整備管理経費 工事請負費 平山中学校トイレ改修建築工事 45,096 他
幼稚園費	932,399	▲61,100	871,299	
幼稚園費	221,759	▲16,216	205,543	市立幼稚園統合事業経費 工事請負費 第五幼稚園園舎解体工事 ▲10,698 他
幼児教育援助費	706,468	▲44,884	661,584	※保育課
社会教育費	982,204	▲32,610	949,594	
社会教育総務費	150,629	▲24,388	126,241	地域学校協働活動推進事業経費 報償費 コーディネーター謝礼 ▲1,466 他
林間施設費	34,829	▲550	34,279	旧大成荘事業経費 役務費 譲渡探索手数料 ▲300 他
文化財保護費	26,729	▲144	26,585	文化財保護経費 旅費 特別旅費 ▲98 他
郷土資料館費	47,664	▲1,574	46,090	郷土資料館調査研究事業経費 報償費 資料整理調査活動謝礼 ▲150 他
公民館費	84,669	▲2,410	82,259	障害者(児)事業経費 委託料 青年・成人学級運営業務委託料 ▲530 他
図書館費	507,842	▲8,098	499,744	図書館経費 委託料 図書貸出管理システムログ管理業務委託料 ▲859 他
文化振興費	129,842	4,554	134,396	※文化スポーツ課
体育費	3,215,753	▲354,563	2,861,190	※文化スポーツ課
教育費計	11,196,517	▲205,509	10,991,008	

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

■令和4年度 日野市一般会計予算（教育費）

別表3-1

	予算額 (千円)	令和3年度予算額 (当初) (千円)	増減率 (%)	内訳 (千円)
1 教育総務費	2,269,212	2,180,267	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会費 7,476 ・事務局費 677,826 ・教育指導費 252,542 ・教育センター費 63,031 ・教育支援費 215,030 ・放課後子ども育成費 1,053,307
2 小学校費	1,743,311	2,802,433	▲ 37.8	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理費 541,488 ・教育振興費 328,511 ・学校保健給食費 792,905 ・学校建設費 80,407
3 中学校費	843,031	871,107	▲ 3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理費 265,329 ・教育振興費 211,605 ・学校保健給食費 329,521 ・学校建設費 36,576
4 幼稚園費	858,368	932,837	▲ 8.0	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園費 161,180 ・幼稚園保健費 2,614 ・幼児教育援助費 694,574
5 社会教育費	1,146,994	981,329	16.9	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育総務費 124,755 ・林間施設費 6,565 ・文化財保護費 17,574 ・郷土資料館費 42,818 ・公民館費 79,210 ・図書館費 748,062 ・文化振興費 128,010
6 体育費	306,717	3,173,529	▲ 90.3	<ul style="list-style-type: none"> ・体育総務費 83,788 ・市民プール費 15,501 ・市民グラウンド費 60,864 ・体育館費 146,564
合計	7,167,633	10,941,502	▲ 34.5	前年度比 3,773,869千円減

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

■令和4年度日野市一般会計補正予算（第1号）

別表3-2

教育費（歳出）

単位：千円

	補正前の額	補正額	合計	主な内容
小学校費	1,743,311	3,634	1,746,945	
学校建設費	80,407	3,634	84,041	施設整備管理経費 備品購入費 東光寺小学校職員室冷暖房機 2,270 仲田小学校職員室冷暖房機 1,364
中学校費	843,031	4,085	847,116	
学校建設費	36,576	4,085	40,661	施設整備管理経費 備品購入費 三沢中学校職員室冷暖房機 1,892 平山中学校職員室冷暖房機 2,193
社会教育費	1,146,994	1,626	1,148,620	
社会教育総務費	124,755	1,626	126,381	令和3年成人式代替イベント事業経費 役務費 郵便料 126 委託料 開場設営等業務委託料 1,500
教育費 計	7,167,633	9,345	7,176,978	

報告事項第2号

令和3年度就学援助申請者数及び認定者数

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和3年度 就学援助申請者数及び認定者数

令和3年度申請分

(単位：人)

	申請者計			要保護・準要保護認定						否認定・廃止認定		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
4月～5月	1,021	597	1,618	61	47	108	905	519	1,424	55	31	86
6月	21	21	42	2	0	2	17	18	35	2	3	5
7月	10	8	18	0	0	0	7	6	13	3	2	5
8月	7	2	9	0	0	0	3	1	4	4	1	5
9月	5	5	10	-2	-1	-3	7	4	11	0	2	2
10月	4	2	6	0	0	0	4	2	6	0	0	0
11月	9	5	14	1	-3	-2	1	5	6	7	3	10
12月	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
1月	2	3	5	2	1	3	0	2	2	0	0	0
2月	2	2	4	0	0	0	1	1	2	1	1	2
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,082	645	1,727	64	-4	108	946	558	1,504	72	-13	115

参考（過年度データ：各年度末時点）

	申請者計			要保護・準要保護認定						否認定・廃止認定		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
令和2年度	1040	607	1647	64	40	104	884	514	1398	92	53	145
令和元年度	1043	636	1679	63	48	111	896	541	1437	84	47	131
平成30年度	1054	670	1724	56	46	102	920	578	1498	78	46	124
平成29年度	1085	748	1833	55	49	104	950	645	1595	80	54	134
平成28年度	1124	763	1887	59	47	106	985	664	1649	80	52	132

報告事項第3号

要綱の制定及び改廃の報告（令和4年1月～令和4年3月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

要綱制定改廃一覧(令和4年1月～令和4年3月)

NO	要綱の名称	適用日	制定・改廃の内容
1	日野市立小・中学校移動教室、修学旅行及び修学旅行代替行事における児童・生徒旅費等補助金交付要綱	令和4年1月20日	<p>【一部改正】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日野市立中学校修学旅行が急遽中止になったことに伴い、代替行事として行う校外学習に係る費用の一部を公費負担とするため。</p>

報告事項第4号

日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和3年10月～令和4年3月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年4月14日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和3年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

No.	実施団体名	事業名	目的・内容	実施場所	実施日(開始～終了)	共催・後援	承認日
1	日野市中体連	第24回日野市中学校陸上競技大会 兼東京都中学校支部対抗陸上競技 大会運営委員会	日野市内各中学校の陸上競技力の向上 ・東京都中学校支部対抗陸上競技大会の代表選手選考	日野市民の森 陸上競技場	令和3年9月25日	後援	令和3年10月4日
2	一般財団法人日本リダーズ 育成推進協会	「子どもの潜在能力を引き出す脳科 学」講座	最新の心理学・脳科学に基づき、新型コロナウイルスの影響 による日野市の保護者の負担増に対する向き合い方を はじめ、子どものセルフイメージを高めるポイントについて お話しすることで、日野市の子どもたちの明るい未来を創造す る一助とする。	オンライン講座	令和4年1月23日	後援	令和3年10月4日
3	令和3年度多岐・島しょ子ども 体験塾日野市・八王子市共 同事業実行委員会	たにぞうファミリーコンサート	子どもから大人まで楽しめる事業として「たにぞうファミリー コンサート」を行い、参加した親子に感動体験を提供する。 コンサートではプロが演出する本格的なステージに子ども たちも参加してもらうなど「本物体験」の機会を設け、子ども の心に大きな感動と教養を与え、豊かな感性を育み、また、 親子で参加することで、情緒や親の抱ひつきを育む。	ひの煉瓦ホール	令和4年1月30日	後援	令和3年10月4日
4	一般社団法人 日本ハート ナルコミュニケーション協会	大学の先生が監修「子どもの才能の のほし方」講座	子どもたち一人一人が個性や才能を発揮し、安心して暮ら せる未来を実現するため、社会貢献事業の一環として、一 人でも多くの子育て中のママ・パパさんに、様々な子育て講 座やお役に立つ情報を完全無料でご提供いたします。	オンライン「ZOOM」配信	令和3年11月25日	後援	令和3年10月11日
5	帝京大学 大学院教職研究 科(教職大学院)	第10回 帝京大学 教職大学院 フォーラム～子どもを見つめて～	理論と実践の融合を特色としている教職大学院が、日頃の 教育実践や研究成果を、広く教育関係者へ公開するとともに に、学校現場での実践や悩み等を共有することで、教職員 の資質や実践力の向上に資すること	帝京大学八王子キャンパス ソライ اسکエ ア2階 S24教室 オンライン(Zoom)同時開催	令和3年11月27日	後援	令和3年10月28日
6	どうぶつ愛護活動隊kyuen	「小さな命の写真展IN日野」	殺処分の実状を知り、広く一般の方々へ命の大切さを知っ ていただくことを目的とし、更に青少年の心の育成に役立 て、人と動物の共生を考える。	とよだ市民ギャラリー	令和3年11月28日	後援	令和3年10月28日
7	東京都薬物乱用防止推進日 野地区協議会	令和3年度薬物乱用防止ポスター・ 標語展示会(中学生による)	薬物乱用防止の啓発	ひの社会教育センター ロビー	令和3年12月9日	後援	令和3年11月10日
8	公益社団法人 日野法人会	公益社団法人日野法人会長杯争奪 日野市サッカークラ大会を兼ねた秋金教 室	地域社会への貢献等、社会の健全な発展に資する事業と して、将来を担う小学生を対象とした福祉教育を支援、実 施する。	日野市石田1-236 北川原公園グラウンド	令和3年11月23日	後援	令和3年11月10日
9	中央大学学友会文化連盟音 楽研究会吹奏楽部	中央大学学友会文化連盟音楽研究 会吹奏楽部「第64回定期演奏会」	2021年における当部の音楽創りの集大成となる本演奏会 を通じて、日野市や八王子市をはじめとする近隣地域の皆 様に「吹奏楽」に親しんでいただくことにより、当部の活動に 対する認知拡大はもとより、吹奏楽及び文化の発展に貢献 すること	Jcomホール八王子	令和3年12月12日	後援	令和3年11月19日
10	有限会社ハートフルクリエー ション	(阪和)みんなの大好きな日野 ウォールアート プロジェクト	アートを通じた交流型プロジェクト	日野市多摩平2丁目B-1	令和3年11月15日	後援	令和3年11月15日

令和3年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

11	一般社団法人倫理研究所 わくわくkidsランド	子育てセミナー	親の自己教育力や家庭教育力向上のため	多摩平の森ふれあい館 3F	令和3年12月11日	令和4年8月6日	後援	令和3年11月15日
12	一般社団法人日野青年会議所	「少年よ、夢を語れ!」～子どもたちの情熱あふれる奇案に回かって～	地域社会における青少年健全育成等の社会奉仕事業	高尾の森わくわくビレッジ	令和3年11月23日	令和3年11月23日	後援	令和3年11月19日
13	NPO法人 日野子ども劇場	人形劇「りんごかもしれない」	鑑賞例会を通して子どもや大人の豊かな感性を育てる	ツリーホール(ひの社会教育センター)	令和4年2月20日	令和4年2月20日	後援	令和3年11月30日
14	子供と家族の未来を考える協会	子供と家族の未来を考えるマネー講座	金融リテラシー(金融、経済、お金の知識)の提供	オンライン講座	令和4年3月4日	令和4年3月6日	後援	令和3年12月21日
15	一般社団法人ダヴィンチマスターズ	第29回ダヴィンチマスターズ	未来を担う子どもたちの「自己肯定感・思考力・行動力・他者との協働・社会意識力」の5つを育む「非認知能力」向上のための体験プログラム	オンライン配信	令和4年1月23日	令和4年1月23日	後援	令和3年12月21日
16	いきいき・ふれあい塾	日野市モーニング・フォーラム	市民のために開かれた生涯学習の場	日野市商工会館 3Fホール	令和4年1月23日	令和4年12月11日	後援	令和3年12月28日
17	一般財団法人言語交流研究所 ソフボファミリークラブ	家族で参加できる わくわく多言語ワークショップ	多言語の自然習得と国際交流、相互理解について共に考える	日野市民の森ふれあいホール	令和4年2月13日	令和4年3月5日	後援	令和3年12月28日
18	特定非営利活動法人フラッグフットボール・マネジメント・ジャパン	フラッグフットボール体験会	フラッグフットボール体験の機会を提供することにより社会教育及び地域スポーツの発展に寄与する。フラッグフットボールの普及。	中央大学ラグビー場	令和4年2月15日	令和4年2月22日	後援	令和4年1月14日
19	社会福祉法人東京光の家	第25回 手づくりの作品展	視覚障害と知的障害などを併せ持つ重複障害者を中心とした東京光の家の利用者が、少しでも自分のできることを惜やらずと訓練に励み、生き生きと生活している姿を理解していただく。	イオンモール多摩平の森3F イオンホール	令和4年2月10日	令和4年2月12日	後援	令和4年1月20日
20	どうぶつ愛護活動隊Kyeuen	小さな命の写真展IN日野	動物愛護精神の普及啓発活動を通じ、人と動物が共生する社会を実現する。 青少年の道徳心を養うため、命の大切さを伝える活動。	明治交田生命八王子支社 日野高層営業所2F	令和4年3月28日	令和4年4月1日	後援	令和4年2月4日
21	朝日新聞社販売局販売第1部	朝日新聞×アルハルク東京バスケットボールクリニック	子供たちにバスケットボールの魅力を感じてもらい、さらに多摩地区を本拠地とするアルハルク東京への関心を持ってもらうことで、地域の活性化へとつなげていく。	ドーム立川立飛	令和4年3月27日	令和4年4月17日	後援	令和4年2月16日
22	NPO法人 日野子ども劇場	人形劇「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」	鑑賞例会を通して子どもや大人の豊かな感性を育てる	ひの峰五ホール 大ホール	令和4年6月11日	令和4年6月11日	後援	令和4年3月11日

令和3年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

23	浅川少年少女合唱団	ミュージカル「陸女の卒業試験」上映 伝と ミュージカル講座	市内の小中学生にミュージカルの楽しさを知ってもらおうこと	ひの旗ホール 小ホール ふれあいホール	令和4年4月16日	令和4年5月3日	後援	令和4年3月31日
24	公益財団法人スコーレ家庭 教育振興協会・武蔵野地区 実行委員会	スコーレ家庭教育講座 「どんがペン字にも負けない！心の 強い子に育てよう」	子育てに大切な原理原則をお伝えし、実生活に役立てて頂 く	リオンホール(cocobunji west 5階)	令和4年5月26日	令和4年5月26日	後援	令和4年3月28日
25	日本児童・青少年演劇劇団 協同組合	2022年 第50回夏休み児童・青少年 演劇フェスティバル	舞台芸術体験の機会拡充、子ども達の人格形成や心の成 長に繋がる作品を提供する。	こくみん共済coopホール/スペース・ゼロ	令和4年7月23日	令和4年8月1日	後援	令和4年3月31日
26	特定非営利活動法人 日野 子ども劇場	～おいでよ！わくわくひろばへ～ 第 10回わくわく文化芸術体験ひろば	コロナ禍の生活の中で、変化している子どもたちの生活を 共有し、遊びから学び、人と人がつながることの楽しさを子 どもたちに体験してほしい。今だからこそ、子どもたちがや りたいと思っている遊びを、創意工夫して思いっきり一緒に 遊ぶ地域の子どもたちの姿を伝えたい。家の中では難しい ソーンヤルティスタンス集団遊びなどの体験の場を作りた い。	日野市民の森ふれあいホール 多目的ルーム	令和4年5月21日	令和4年5月21日	後援	令和4年3月28日
27	八王子市ボウリング連盟会 長	第24回 初心者向け健康ボウリング 教室	ボウリングの普及と地域の皆様の健康促進を図ること。	SAP日野ボウル	令和4年5月10日	令和4年6月27日	後援	令和4年3月28日
28	公益財団法人 日本フィル ハーモニイ交響楽団	日本フィル 夏休みコンサート2022	オーケストラが響でる芸術性の高い音楽を、音楽の素晴ら しさを語る身近な会場で多くの子どもたちやご家族にお聴 きいただこうという、このコンサートが始まった時の目的を維 持し、子どもたちの豊かな感情を呼び起こす企画にしてい く。	府中の森芸術劇場	令和4年7月18日	令和4年7月18日	後援	令和4年3月31日

	2年度	3年度
10月承認	3件	6件
11月承認	2件	7件
12月承認	4件	4件
1月承認	2件	2件
2月承認	4件	2件
3月承認	2件	7件
合 計	17件	28件

	2年度下半期	3年度下半期
スポーツ	1件	5件
音楽・美術	2件	3件
講演会	7件	7件
イベント	1件	13件
その他	6件	0件
合 計	17件	28件